



2021年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2021年4月22日

上場会社名 株式会社エイトレッド
 コード番号 3969 URL <https://www.atled.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 康広
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 CFO (氏名) 佐藤 淳
 定時株主総会開催予定日 2021年6月18日 配当支払開始予定日 2021年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月18日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03 - 3486 - 6312

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	1,924	18.6	783	33.1	790	34.4	535	29.8
2020年3月期	1,623	12.1	588	14.4	588	20.2	412	32.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	71.67	71.53	18.6	21.0	40.7
2020年3月期	55.26	55.10	16.4	17.7	36.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 百万円 2020年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	4,041	3,078	76.2	412.08
2020年3月期	3,498	2,678	76.6	358.43

(参考) 自己資本 2021年3月期 3,078百万円 2020年3月期 2,678百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	675	188	134	3,156
2020年3月期	609	188	112	2,803

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期		8.00		8.00	16.00	119	29.0	4.7
2021年3月期		10.00		10.00	20.00	149	27.9	5.2
2022年3月期(予想)		11.00		11.00	22.00		26.9	

3. 2022年3月期の業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,008	15.3	440	33.1	440	30.4	305	35.1	40.82
通期	2,100	9.1	880	12.4	880	11.3	610	13.9	81.64

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	7,471,800 株	2020年3月期	7,471,800 株
期末自己株式数	2021年3月期	138 株	2020年3月期	68 株
期中平均株式数	2021年3月期	7,471,712 株	2020年3月期	7,463,305 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4の「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 9
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(持分法損益等)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 11
(1株当たり情報)	P. 11
(重要な後発事象)	P. 11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染の世界的な広がり等により、国内外において経済活動への影響が懸念され、先行き不透明な状況が一層高まっております。

当社が属するIT業界は、政府によるペーパーレス化や脱ハンコ等のデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、テレワークや在宅勤務等への働き方の変化により、当社が展開するワークフロークラウドサービスの利用拡大が顕著となっていることや、ワークフローソフトウェアについても需要が拡大し堅調に推移いたしました。

このような状況の中で、当社はワークフローソフトウェアメーカーとして、Webを活用したセミナーの開催及び市場優位性を確保するためのワークフローソフトウェアの機能強化、並びに急速に拡大するクラウドサービス市場のシェア獲得に向けたクラウドビジネスの拡大に注力してまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は19億24百万円(前期比18.6%増)、営業利益は7億83百万円(同33.1%増)、経常利益は7億90百万円(同34.4%増)、当期純利益は5億35百万円(同29.8%増)となりました。なお、当社の事業はワークフロー事業の単一セグメントのため、製品・サービス別の業績の概要を記載しております。

(パッケージソフト)

X-p o i n tは、クラウドニーズが増加したこと等により新規販売が減少したため売上高が減少いたしました。A g i l e W o r k sは、新規販売パートナーの開拓やテレワークや在宅勤務等によるワークフロー需要の拡大等により、導入企業数が増加し売上高が伸びました。その結果、当事業年度のX-p o i n t売上高は4億30百万円(前期比3.2%減)、A g i l e W o r k s売上高は8億93百万円(前期比24.1%増)となり、パッケージソフト全体の売上高は、13億23百万円(前期比13.7%増)となりました。

(クラウドサービス)

クラウドサービスは、クラウドサービス市場の成長及び新型コロナウイルスの感染拡大に伴うワークフロー需要の拡大を背景として、Webを活用したセミナー、無料トライアルの実施等により、新規導入企業数が順調に推移しました。その結果、当事業年度のクラウドサービス売上高は、6億円(前期比30.9%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ5億18百万円増加し、35億55百万円となりました。これは、主に現金及び預金が3億52百万円、売掛金が1億31百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ24百万円増加し、4億86百万円となりました。これは、主にソフトウェアが33百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて5億43百万円増加し、40億41百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、8億16百万円となりました。これは、主に未払金が41百万円、未払法人税等が51百万円、前受収益が57百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ11百万円減少し、1億46百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が15百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて1億42百万円増加し、9億62百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ4億円増加し、30億78百万円となりました。これは、主に当期純利益の計上等により利益剰余金が4億1百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して3億52百万円増加し、31億56百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、6億75百万円（前期は6億9百万円の獲得）となりました。これは、主に売上債権の増加が1億49百万円あったものの、税引前当期純利益が7億90百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、1億88百万円（前期は1億88百万円の使用）となりました。これは、主に無形固定資産の取得による支出が1億81百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億34百万円（前期は1億12百万円の使用）となりました。これは、主に配当金の支払が1億34百万円あったこと等によるものであります。

(キャッシュ・フロー指標の推移)

	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率 (%)	76.6	76.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	264.2	420.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—

(注1) 各指標は、以下の計算式により算出しております。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注2) 有利子負債がないため、キャッシュ・フロー対有利子負債率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、政府によるペーパーレス化や脱ハンコ等のデジタルトランスフォーメーション (DX) の推進や新型コロナウイルス感染の世界的な広がりを背景として、企業のDX化が加速することにより、ワークフロー事業の需要が拡大することを想定しております。

このような中、パッケージソフトにおいては、X-p o i n tは、2021年4月に行った「X-p o i n t C l o u d」のメジャーバージョンアップ (Ver. 3.0) のリリースに伴い、パッケージ版は旧バージョンのみの販売となることから、新規販売の減少及びクラウドサービスへの移行が進行し売上減を見込んでおり、A g i l e W o r k sは、引き続き既存販売パートナーの深耕及び新規販売パートナーの開拓を積極的に行うことにより売上増を見込んでおります。

クラウドサービスにおいては、X-p o i n t C l o u dのメジャーバージョンアップ (Ver. 3.0) をリリースすることにより、売上増を見込んでおります。

また、費用面につきましては、売上拡大やサポート体制強化に伴う人員の増加や、製品機能強化のためのソフトウェア償却費の増加等の増加はあるものの、売上高の拡大に伴う利益増が吸収し、利益は増益を想定しております。

次期の業績予想につきましては、売上高は21億円 (前期比9.1%増)、営業利益は8億80百万円 (同12.4%増)、経常利益は8億80百万円 (同11.3%増)、当期純利益は6億10百万円 (同13.9%増) を計画しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,803,832	3,156,468
売掛金	172,880	304,801
電子記録債権	37,923	55,145
前払費用	20,847	39,122
その他	1,446	200
流動資産合計	3,036,930	3,555,737
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	139,372	139,372
減価償却累計額	△62,168	△74,891
建物附属設備(純額)	77,203	64,480
工具、器具及び備品	18,409	25,897
減価償却累計額	△13,383	△16,315
工具、器具及び備品(純額)	5,025	9,582
有形固定資産合計	82,229	74,062
無形固定資産		
ソフトウェア	263,517	296,755
無形固定資産合計	263,517	296,755
投資その他の資産		
繰延税金資産	81,398	81,315
その他	34,249	33,949
投資その他の資産合計	115,647	115,264
固定資産合計	461,394	486,082
資産合計	3,498,324	4,041,820

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	25,674	27,826
未払金	76,537	118,002
未払費用	37,003	36,443
未払法人税等	124,366	175,500
預り金	2,615	5,547
前受収益	354,613	412,519
賞与引当金	42,089	41,011
流動負債合計	662,900	816,851
固定負債		
退職給付引当金	77,880	61,972
役員退職慰労引当金	12,359	16,759
資産除去債務	67,080	67,292
固定負債合計	157,319	146,023
負債合計	820,219	962,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	620,824	620,824
資本剰余金		
資本準備金	620,824	620,824
資本剰余金合計	620,824	620,824
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,436,564	1,837,596
利益剰余金合計	1,436,564	1,837,596
自己株式	△107	△298
株主資本合計	2,678,104	3,078,945
純資産合計	2,678,104	3,078,945
負債純資産合計	3,498,324	4,041,820

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	1,623,295	1,924,441
売上原価	378,241	461,089
売上総利益	1,245,053	1,463,351
販売費及び一般管理費	656,723	680,310
営業利益	588,329	783,041
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,334	28
解約金返戻金	—	6,815
その他	95	1,068
営業外収益合計	1,429	7,913
営業外費用		
雑損失	1,468	—
その他	3	1
営業外費用合計	1,471	1
経常利益	588,288	790,953
特別利益		
投資有価証券売却益	19,428	—
特別利益合計	19,428	—
税引前当期純利益	607,716	790,953
法人税、住民税及び事業税	209,869	255,347
法人税等調整額	△14,595	82
法人税等合計	195,273	255,430
当期純利益	412,442	535,522

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	170,216	29.1	168,868	26.3
II 外注加工費		125,046	21.3	194,595	30.3
III 経費		290,573	49.6	278,781	43.4
当期総製造費用		585,836	100.0	642,246	100.0
他勘定振替高	※2	207,595		181,156	
売上原価		378,241		461,089	

(注) ※1 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
減価償却費 (千円)	172,722	148,000
通信費 (千円)	76,165	96,724
地代家賃 (千円)	11,340	11,340

※2 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
ソフトウェア (千円)	207,595	181,156

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	618,808	618,808	618,808	1,124,832	1,124,832	△52	2,362,395	2,362,395
当期変動額								
新株の発行(新株予約権 の行使)	2,016	2,016	2,016				4,032	4,032
剰余金の配当				△100,710	△100,710		△100,710	△100,710
当期純利益				412,442	412,442		412,442	412,442
自己株式の取得						△55	△55	△55
当期変動額合計	2,016	2,016	2,016	311,732	311,732	△55	315,709	315,709
当期末残高	620,824	620,824	620,824	1,436,564	1,436,564	△107	2,678,104	2,678,104

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他利益 剰余金 繰越利益剰 余金	利益剰余金 合計			
当期首残高	620,824	620,824	620,824	1,436,564	1,436,564	△107	2,678,104	2,678,104
当期変動額								
剰余金の配当				△134,491	△134,491		△134,491	△134,491
当期純利益				535,522	535,522		535,522	535,522
自己株式の取得						△190	△190	△190
当期変動額合計	-	-	-	401,031	401,031	△190	400,840	400,840
当期末残高	620,824	620,824	620,824	1,837,596	1,837,596	△298	3,078,945	3,078,945

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	607,716	790,953
減価償却費	187,371	163,572
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,365	△1,078
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,270	△15,908
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,167	4,400
受取利息及び受取配当金	△1,334	△28
投資有価証券売却損益(△は益)	△19,428	—
売上債権の増減額(△は増加)	9,510	△149,142
仕入債務の増減額(△は減少)	14,601	2,152
前受収益の増減額(△は減少)	76,693	57,905
未払金の増減額(△は減少)	△7,026	25,055
その他	△21,114	2,868
小計	837,727	880,750
利息の受取額	1,332	28
法人税等の支払額	△229,332	△205,207
営業活動によるキャッシュ・フロー	609,727	675,571
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△237	△7,487
無形固定資産の取得による支出	△207,595	△181,156
投資有価証券の取得による支出	△496,973	—
投資有価証券の売却による収入	516,402	—
その他	△1	300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188,405	△188,344
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△55	△190
ストックオプションの行使による収入	4,032	—
上場関連費用の支出	△15,583	—
配当金の支払額	△100,532	△134,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	△112,139	△134,591
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	309,182	352,636
現金及び現金同等物の期首残高	2,494,650	2,803,832
現金及び現金同等物の期末残高	2,803,832	3,156,468

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ワークフロー事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	358円43銭	412円08銭
1株当たり当期純利益金額	55円26銭	71円67銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	55円10銭	71円53銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(千円)	412,442	535,522
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	412,442	535,522
普通株式の期中平均株式数(株)	7,463,305	7,471,712
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	21,921	14,633
(うち新株予約権数(株))	(21,921)	(14,633)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。